



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

令和6年4月30日

「 根 」

校長 福田 博志

5月を迎え、風薫るさわやかな季節となりました。新緑の中、サツキやバラの花が咲き、植物の生命力を圧倒的に感じる景色に心が癒されます。

皆さんは、理科の授業で「植物には根・茎・葉があること」「光合成をすること」「花にはおしべやめしべがあり、めしべに花粉がつくと受粉し、実ができ、実の中には種子ができること」を学習したことと思います。

ここで、右のスケッチを見てください。これは、大成中に咲いているサツキを描いたものですが、皆さんは最初にサツキのどこを見ますか。大部分の人が「花」に注目するのではないのでしょうか。「葉」や「茎」という人もいますが、少数かと思います。「根」に至っては、地下にあるのでほとんど見ることはできません。どのくらいの深さまで伸びて、どのくらいの範囲まで広がっているかは、わかりません。しかし、美しい花を咲かせるために、このサツキの根が自分の役割をきちんと果たし、水分や養分を吸収したり、倒れないように支えたりしていることは事実です。



私は、幼児期の頃から人前に出ることや目立つことが得意ではありませんでした。そしてそれは、大人になった今でもほとんど変わっていません。学校でも静かにひっそりと過ごしている私ですが、いつもこうありたいと思っていることがあります。それは、植物の「根」のような存在になりたいということです。美しく素敵な花を咲かせるために見えないところで周りを支えられる人になりたいと。まだまだ細く小さな「根」かもしれませんが、私は太く大きな「根」を目指しているのです。

現在、大成中学校には、周りの人が気付かないところで、「根」の役割を果たしている人がたくさんいます。明るく元気にあいさつをしてくれる人。隅々まで丁寧に掃除をしてくれる人。心を込めて黒板を拭いてくれる人。部活動で用具を準備してくれる人。悩みの相談にのってくれる人。このように力強く頼もしい「根」が広がり、深く長く伸びているからこそ、大成中学校の様々な場面で、美しい「成中生の花」が咲いているのです。